

国際食品・飲料展の輸出関連ゾーンに本県企業が多数出展しました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

アジア最大級の食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN 2025（第50回国際食品・飲料展）」が2025年3月11日（火）～14日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。

1 本展示会には世界各国の企業が出展

FOODEX JAPAN は、1976 年から毎年開催されており、50 回目の今回は、世界 74 か国・地域から食品、飲料メーカー、商社など 2,930 社／3,738 ブース（国内 949 社／1,354 ブース、海外 1,981 社／2,384 ブース）が出展し、来場者数は 72,151 名となりました（主催者発表）。会場内の出展内容は多岐に渡り、25 の出展ゾーン【※1】に分かれていました。



多くの来場者で賑わう会場

【※1】出展ゾーンの内訳：農産、水産、畜産、調味料、加工食品、輸入食品、オーガニック、ヘルスケア、代替食・食品素材、ドリンク&アルコール、スイーツ&スナック、全国食品博、食品安全対策展、につぼん食輸出展、日本酒パビリオン、海外ナショナルパビリオン、FOODEX Frozen 加工食品、FOODEX Frozen スイーツ、FOODEX Frozen FRESH FOOD、FOODEX Frozen 機械技術、FOODEX Frozen 日本の地域産品・世界のローカルフード、FOODEX WINE、FOODEX TECH、情報・サービス、食肉産業展

2 本県企業は輸出関連ゾーンに多数出展

本県企業（本県に本社を置く企業）の出展については 17 ブース【※2】ありました。出展数は「につぼん食輸出展」ゾーンが計 11 ブースで最も多く、各企業に売上全体に占める輸出割合を伺ったところ、「4 割程度である」、「数%であるが、伸びしろがある」など様々でした。いずれも輸出拡大に意欲的で、海外バイヤーとの商談を期待する声が聞かれました。



本県企業の出展ブース事例

【※2】出展ゾーンとブース数：調味料＝1、スイーツ&スナック＝1、につぼん食輸出展＝11、食肉産業展＝4

3 輸出関連セミナーについて

会場では開催 4 日間で計 68 の講演会とセミナーが開催され、3 月 11 日（火）に取材した「日本食品・農林水産物の輸出先としての香港～その市場性と波及効果」（講師：香港貿易発展局東京事務所長 伊東正裕氏）では、以下の内容が紹介されました。

- ・香港は世界第 2 位の輸出先である（2024 年数値、農林水産省調べ）。
- ・香港の人達は日本への好感度が高い（「大好き」64.8%、「好き」33.3%、2024 年数値、民間会社調べ）。このため、香港市場への輸出は伸びしろがある。
- ・香港はアジアのマーケットニーズを熟知し、多言語を扱う有能な人材を保有しており、各地域の規制にも詳しいため、国際市場との仲介役を果たしている。このため、香港へ輸出することで、日本独自のノウハウや文化をグローバル化できることが期待される。

今回の展示会は 70,000 人以上の来場者がありました。海外からのバイヤー等は 2 割程度が見込まれており、出展した本県企業の輸出拡大が一層進むことが期待されます。